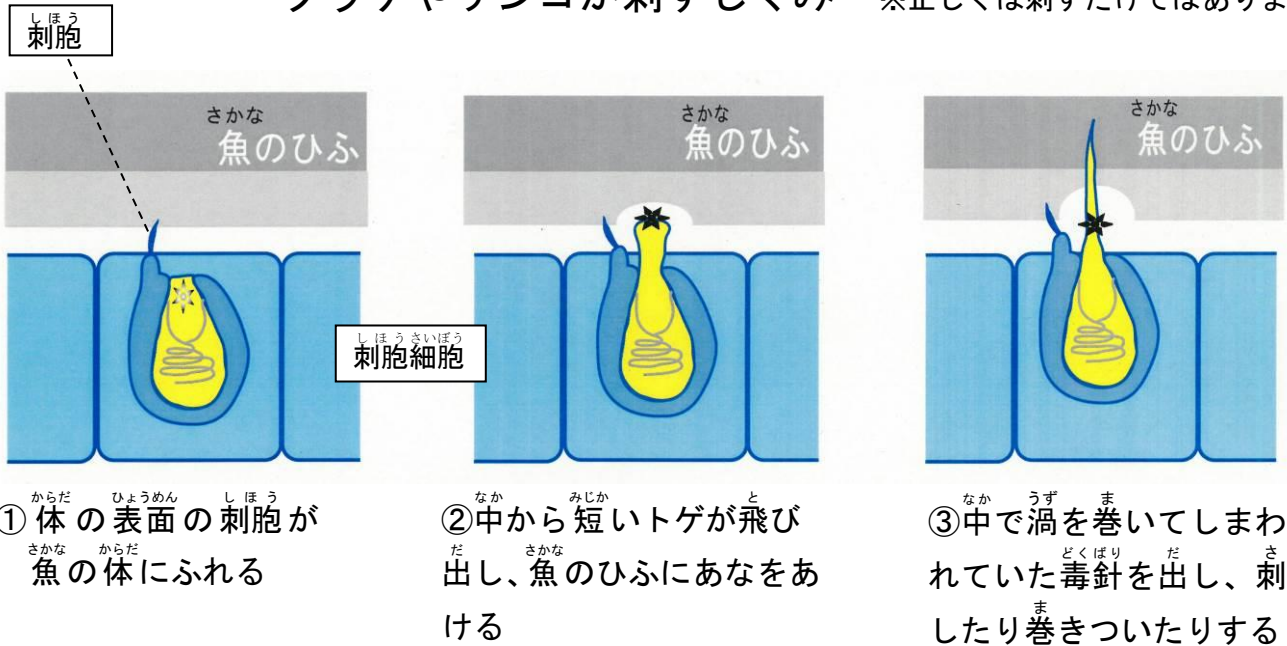


しほうどうぶつ 刺胞動物～クラゲについて～

みなさんは海で、クラゲに刺されたことがありますか？

クラゲは「刺胞」という毒針のようなものを持っています。この刺胞をもつグループをまとめて「刺胞動物」と呼び、この仲間にはクラゲの他にサンゴやイソギンチャクなども含まれます。この「刺胞動物」は、獲物となる生物を麻痺させて捕らえるために刺胞を使います。

クラゲやサンゴが刺すしくみ ※正しくは刺すだけではありません



クラゲには、強い毒をもったものが多いです

◆刺されると腫れて、痛いクラゲ◆



アカクラゲ



ハナガサクラゲ

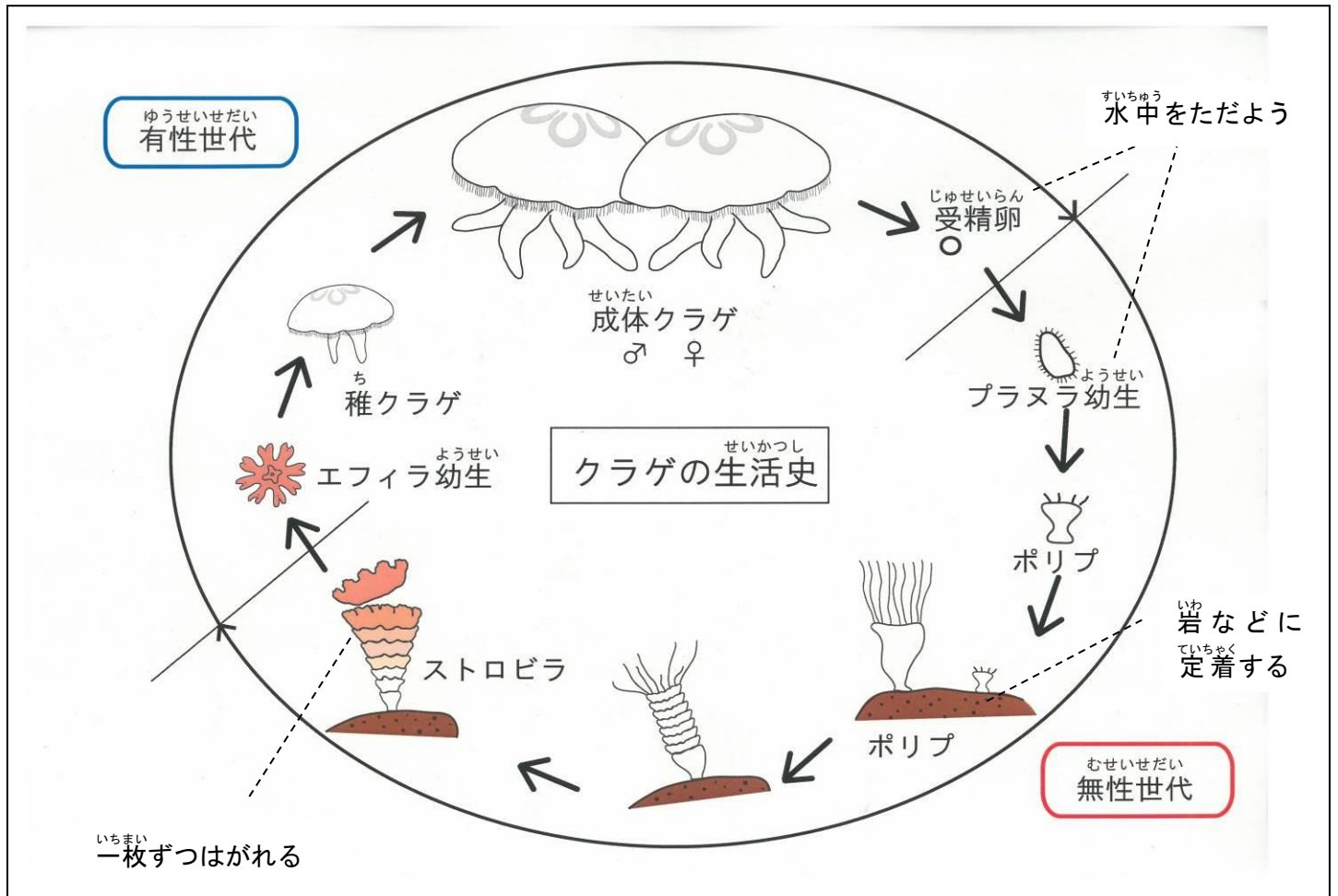
この他にも、カツオノエボシや、ハブクラゲなどがいます。ハブクラゲは、日本のクラゲの中で最も強い毒を持ち、刺されると死ぬこともあります。



せいかつし クラゲの生活史

せいかつし いもの う し いっしょう しめ
生活史とは、生き物が生まれてから死ぬまでの一生を示したものです。

なかま おお した ず せいかつ おく
クラゲの仲間の多くは下の図のような生活を送ります。



◆いろいろなクラゲ◆

		
ウリクラゲ	ミズクラゲ	ベニクラゲ
ひかり はんしゃ ひか くしじょう すじ 光を反射して光る櫛状の筋をもつ	にほん 日本でもっともよく見られる	せいいたい クラゲから みたた 成体クラゲから再びポリプにもどる ことから不老不死のクラゲと言われる

